

平成 29 年度滋賀県「学校を核とした地域力強化プラン」第 5 回合同研修会 開催報告概要

本県では、地域住民の参画により、地域の将来を担う人の育成を社会全体で担うとともに、持続可能な地域の教育基盤の構築を図るため、「学校を核とした地域力強化プラン」事業を進めています。

本研修は、事業に関わる関係者、学校教職員、行政職員等が一堂に会し、本年度の各市町における取組事例の発表や「地域とともにある学校づくり」に関する講演を通じて、地域の将来を担う人の育成を社会全体で支える体制づくりや今後の推進方策について、ともに学ぶ機会として開催しました。

◆日 時 平成 30 年 1 月 26 日（金） 13:30～16:40

◆会 場 滋賀県庁東館 7 階大会議室

◆内 容

当日は、地域で子どもを育む教育支援活動を実施する組織の地域コーディネーターや学校運営協議会委員、市町の事業担当者、学校教職員、本事業関係者等、89名の参加をいただきました。

《事例発表》

県内各市町で行われている取組事例の発表に参加者は、熱心に聞き入っておられました。

◇湖南市における地域学校協働活動・学校運営協議会の取組報告

（地域学校協働本部、放課後子ども教室、土曜日の教育支援、コミュニティ・スクール）

湖南市教育委員会学校教育課教育研究所 伊藤 照男 氏

◇彦根市における地域学校協働活動の取組報告

（地域学校協働本部、地域未来塾）

彦根市教育委員会生涯学習課 森 貞以子 氏

稲枝中学校区支援地域協議会地域コーディネーター 北川 浩志 氏

◇日野町における家庭教育支援活動の取組報告

（地域における家庭教育総合推進事業）

日野町教育委員会生涯学習課 河居 克子 氏



◆参加者の声<抜粋>

○学校も行政もいろいろ思うところはあると思うが、みんなで子どもを中心におき、子どものためになることをしなくてはと改めて思いました。

○どの地域も活動の核となるボランティアスタッフの確保に苦慮されているようだが、少ないスタッフ人数なりに活動の内容を工夫して取り組まれている報告をうかがうことができ、参考になりました。

○地域の子どもは地域で守り育てるという考えのもと、学校・地域・家庭が連携・協働して子育てをしていくことが求められていると学びました。

《講 演》

講 演 演題：「地域の教育力の向上を図るために」

講師： NPO法人まちと学校のみらい

代表理事 竹原 和泉 氏

講師の竹原氏から、横浜市立東山田中学校での取組実践を紹介いただき、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することが有効であることを説明いただきました。さらに、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の具体的な役割についても説明いただくなど、地域の教育力の向上を図るために、「地域とともにある学校づくり」としての大切な視点について認識することができました。



◆参加者の声（抜粋）

○地域と学校が協力するだけでなく、情報やプロセスをしっかりと共有することが大切だと学びました。

○今まで、「つながり」や「協働」とはどういうことか、協働本部では何をすることが正解なのか、はっきりとわかっていなかったのですが、何でもやってみることが大切なのだという事を感じました。つながりをどのようにするのか、なぜ大事なのか、何を目指しているのかというところがよく理解できたと思います。

○コーディネーターとして、関わっている学校は違いますが、同じ立場の目線で、とても分かりやすく参考になりました。まだ、コミュニティ・スクールにはなっていませんが、もっと情報の共有が地域にも学校にも家庭にも必要であると感じました。学校、地域、家庭の間でもっと自分にできることを考え、交流、意見交換をしたうえで、アクションに変えていきたいと思えます。

○地域との連携をよく聞きますが、実際のところ何をすればよいのか、関わり方はどうなのか、正直面倒くさいものだと思っていましたが、講師のお話を聞いて認識が変わりました。頭だけで考えるのではなく、もっと気軽に肩の力を抜いて共に子どものためにやることや協働することは、大切なことだと思いました。